

森林塾 青水 活動のあゆみ

2016年4月改定

- 2000年 「森林塾青水」発足(9月)
- 2001年 ワークショップと自然観察会実施
木工教室と「樹種」見本作成
- 2002年 現代版「入会慣行」を考える集い発足
現地フィールドスタディ実施
- 2003年 町有林(もと入会地)借受契約締結(4月)
フィールドスタディ計6回実施
ミズナラ林の毎木調査とスキ草原の森林化調査実施
- 2004年 現代版「入会慣行」(初版)の作成
野焼きと山の口開け、口終い行事復活(約40年ぶり)
日本の里地里山30保全活動」コンテスト入賞
- 2005年 麗沢中学「水源の森フィールドスタディ」、川越小学校「里山探検隊」受け入れ(以後、毎年)
「藤原地区地域資源活用調査事業」実施
- 2006年 木馬道(キンマチ)、古道・青木沢峠の再生
地域間交流事業「茅葺保全観察と茅刈り」ツア一実施
「藤原ガイドマップ」「入山心得」作成
- 2007年 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞
古道・芦ノ田峠を再生
全国草原再生ネットワークに加盟
- 2008年 「草原再生セミナー」開催
「茅刈り講習会 & コンテスト」開催
- 2009年 フットパス地図「青木沢峠」作成
「日・中・韓環境ジャーナリスト・NGO交流会」開催
「多面的価値のある草原を持続的に保全する仕組み」構築(地球環境基金助成事業)
- 2010年 10周年記念フォーラム「暮らしの現場から生物多様性の保全を考える」開催
第1回「茅刈り検定」開催
日本自然保護協会「沼田賞」受賞
- 2011年 みなかみ町「生物多様性を守るための昆虫等保護条例」の対象地区となる
東日本大震災仮設住宅の屋根断熱材に使う茅の供給
茅買上価格の上乗せに「環境支払」を実施(以後、毎年継続)
割り薪用ミズナラの伐り出しとキノコ原木の伏せ込み実施
フットパス地図「芦ノ田峠」作成
- 2012年 野焼復活後、初の中止 防火帯造りに本格着手
生き物調べの進展→希少種昆虫を多数観察
フットパス地図「上ノ原」の作成
「第9回全国草原サミットinになかみ」開催に協働
東洋大学学生フィールドスタディ、林野庁森林技術総合研修所「生物多様性研修」の受け入れ
- 2013年 野焼き2年連続中止 防火帯作り完成間近に
上ノ原「入会の森」、教育旅行の場としての利用開始
「国際生物多様性の10年日本委員会」連携事業として認定される
- 2014年 寄附した茅を使っての諏訪神社屋根葺き替え完了
流域連携として理科大学キャンパスでの湿地再生作業に参加
防火帯兼管理道・刈り払い防火帯全線完成
- 2015年 車座講座を実施
環境省「生物多様性保全上重要な里地里山」500のうち一つに選定される
高野史郎会員による「スケッチ・オブ・ワンダー」を朝日新聞読者ホールで森林文化協会と共に催
上ノ原昆虫調査中間報告

上記の他、2004年度以降、フィールド実践講座「コモンズ村・ふじわら」を年8回シリーズで毎年開催